



プレスリリース  
研究発表のご案内

2004年2月20日

有限会社PJI

現在

Innovation

カーナビ経路誘導をサポートする  
新標識理論の研究成果に関する学会発表

このたび有限会社PJIの独自研究提案である「交差点に識別情報を配置する方法」(特願2000-223569)が日本弁理士会特許援助制度による支援のもと2004年1月、特許の認定を受けました。

また本技術をベースとした標識の実現化に向け、京都大学、住友3M株式会社、山形3M株式会社などの協力のもと実験を行ってきました。下記の通り3月17日、日本人間工学会主催のシンポジウム「2004ケータイとカーナビの利用性と人間工学」にて、本研究について発表いたします。

【研究の経緯】

弊社独自の研究提案である目印配置理論については、1999年シンポジウム「ケータイとカーナビの利用性と人間工学」で発表を行いました。その後、京都大学吉井稔雄助教授の協力の下その効果について2000年には静止画を用いた判読性比較実験、2001年には動画実験、2002年には更に東京都立大学の協力でドライブシミュレータを用いた判読性と運転挙動の比較実験、2003年には住友、山形3M社協力の下、実標識を用いた屋外判読性実験を行っています。2004年はフィールドでの走行車両からの判読性の実験を予定しています。

【発表内容】

目印配置理論とニュータウンへの配置マップ、各段階の実験結果についてご報告します。またシミュレータのデモ映像やナビ映像による標識バーチャル体験の準備も進めています。

PJIは、ユニバーサルデザインをベースにしたインダストリアルデザインを手がけるデザイン事務所です。本提案は高齢者、初心者、外国人、二輪車などの交通弱者の不安、混乱の減少、事故の減少を目的とし研究を進めています。PJIでは今後もユニバーサルな社会の実現に取り組んでまいります。

以上

【発表シンポジウム】

シンポジウム「ケータイとカーナビの利用性と人間工学」主催:日本人間工学会 共催:ケータイ国際フォーラム  
2004年3月17日(水) ~ 18日(木) パルスプラザ(京都府総合見本市会館) 2F, 5F

【発表プログラム】

3月17日(水) 13:00 ~ 誘導1 発表番号1221

「カーナビ経路誘導をサポートする交差点名称に代わる新標識の研究提案」

松平健(有)PJI 吉井稔雄(京都大学) 根岸弘幸(住友3M(株)) 川口宗良(神戸大学) 大口敬(都立大学)

【お問合せ】

シンポジウムに関して モバイル人間工学研究部会事務局 TEL 0823-70-4884 WEB [www.mobilergo.com](http://www.mobilergo.com)

本研究内容に関して 有限会社PJI 担当: 松平 TEL 045-904-6453 メール [info@pji.co.jp](mailto:info@pji.co.jp) WEB [www.pji.co.jp](http://www.pji.co.jp)

プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。